

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちよこらんど		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 6 年 7 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 6 年 7 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 8 月 1 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が多く、医療的ケアの充実、安全な過ごしを提供できている	狭い空間にもかかわらず、ベッドの確保や空間の有効利用を工夫している	今後の感染個室等の確保のために移転計画を企画中。 今ある空間と人員を有効利用する
2	チームワークは良好で、多職種(保育士、リハビリスタッフ、看護師)で情報共有できている	毎月の活動会議実施、個別支援計画作成し、月の振り返り会議を行い、翌月への支援計画に反映できている。 ケース会議も担当中心にプレゼンしている	定例会議を継続し、情報共有と更なる支援の充実を図る
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間が狭く、学童一人あたりの大きなバギー、医療機器、持参物品で占める空間が大きくなってきている	特に長期休みは医療機器を必要とする超重症学童が増えるので、空間の工夫を日々苦慮している。感染対策事故防止にも配慮したベッドスペースの確保に努めている	移転による空間の確保、それまでは準個室を活用してスペースを確保
2	登園時、平日は登園後の入浴支援もあるため、他の事業所や地域との交流場がない。長期休みも超重症児数が多いので、事業所から散歩程度しかお出かけできていない	入浴支援と外出の機会の兼ね合いの工夫が必要	長期休みの午後の1時間程度を外出実施できないか検討する
3			